

岡山大学病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能ないように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

- 本研修プログラムは専門研修基幹施設である岡山大学病院を中心とするローテーションを組むことにより、4年間で十分な知識・技術・態度を備えた麻酔専門医を育成する事はもちろん、さらには将来的な大学院進学、海外国内留学、サブスペシャリティー（集中治療、ペインクリニック、救急、臓器移植手術や小児心臓手術の麻酔・周術期管理など）の獲得をサポートすることを目的とする。
- 本研修プログラムは約40施設が連携することにより、専攻医が様々な地域において、十分な指導体制のもとで多種多様な症例を経験でき、整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる。
- 中四国地方を中心に、関東、関西など全国各地にある連携施設での研修が可能で、各地域での中核病院での研修と大学病院での研修を組み合わせることができる。
- 大学病院を中心としたローテーションの中で、早期より研究や学会活動に触れる機会を多く設け、リサーチマインドを持った医師を育成する。
- 定期的な抄読会、症例検討会、カンファレンスを開催し、知識の裏付けのある臨床を実践できる医師を育成する。

- 岡山大学病院を中心にプログラム全体の専攻医が参加できる勉強会を随時開催し、新しい知識を得るとともに専攻医同士が情報交換できる機会を設ける。
- 麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 研修4年間のうちの1年間は（最短でも6か月間）専門研修基幹施設である岡山大学病院での研修を行うこととする。希望者には専門研修連携施設Aでは最大で3.5年間、専門研修連携施設Bでは最大で2年間の研修を認める。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが、小児診療を中心に学びたい者へのローテーション、ペインクリニックを学びたい者へのローテーション、集中治療を中心に学びたい者へのローテーション、大学院進学を組み合わせたローテーションなど、専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する。
- 大学院進学と組み合わせた研修を可能とし、希望者には専門医と並行して、学位取得も目標とするローテーションを組む。

研修実施計画例

	A	B	C	D
初年度 前期	本院	初期研修を行った 地域の拠点病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
初年度 後期	本院	初期研修を行った 地域の拠点病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
2年度 前期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	本院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
2年度 後期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	本院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
3年度 前期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	心臓麻酔の研修が 可能な病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）

3年度 後期	小児の研修が 可能な病院	心臓麻酔の研修が 可能な病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院・学位 取得）
4年度 前期	小児の研修が 可能な病院	小児の研修が可能 な病院	本院（大学院進学）	総合病院
4年度 後期	本院（ペインま たは集中治療、 移植手術や小 児心臓手術な どの特殊麻酔 の研修、大学院 進学準備）	小児の研修が可能 な病院	本院（大学院進学）	総合病院

週間予定表

本院麻酔ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直			当直				

4. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

本研修プログラム全体における前年度合計麻酔科管理症例数：70,439症例

本研修プログラム全体における総指導医数：130人

	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	2,237症例
帝王切開術の麻酔	2,036症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1,582症例
胸部外科手術の麻酔	3,215 症例
脳神経外科手術の麻酔	1,828症例

① 専門研修基幹施設

岡山大学病院（以下、岡山大学本院）

研修プログラム統括責任者：森松 博史

専門研修指導医：

森松 博史（麻酔，集中治療）
岩崎 達雄（麻酔，集中治療）
武田 吉正（麻酔，集中治療）
小林 求（麻酔，集中治療）
賀来 隆治（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
谷西 秀紀（麻酔，集中治療）
清水 一好（麻酔，集中治療）
松岡 義和（麻酔，集中治療）
松崎 孝（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
林 真雄（麻酔，集中治療）
金澤 伴幸（麻酔，集中治療）
鈴木 聡（麻酔，集中治療）
谷 真規子（麻酔，集中治療，医学教育）
川瀬 宏和（麻酔，集中治療）
小坂 順子（麻酔，集中治療）
黒田 浩佐（麻酔，集中治療）
西本 れい（麻酔，集中治療）
小野 大輔（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
中村 龍（麻酔，集中治療）
山之井 智子（麻酔，集中治療）
清水 達彦（麻酔，集中治療）
武藤 典子（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

専門医：

谷口 新（麻酔，集中治療）
廣井 一正
日笠 友起子
黒江 泰利
大岩 雅彦
佐倉 考信
坂本 里沙

認定病院番号:23

特徴：小児心臓手術や臓器移植手術（心、肺、肝、腎）などの高度先進医療に加えて、小児麻酔、食道手術や呼吸器外科手術における分離肺換気など特殊麻酔症例も数多く経験できる。また麻酔のみならず、小児を含む集中治療（30床）、ペインクリニックの研修も可能である。また周術期管理センターが確立しており、多職種による周術期チーム医療システムを学ぶこともできる。

麻酔科管理症例数7,094症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	708症例
帝王切開術の麻酔	138症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	253 症例
胸部外科手術の麻酔	574 症例
脳神経外科手術の麻酔	189症例

② 専門研修連携施設A

岡山済生会総合病院

研修実施責任者：水川 俊一

専門研修指導医：水川 俊一（麻酔，集中治療）

小林 洋二（麻酔）

馬場 三和（麻酔）

物部 容子（麻酔）

難波 研二（麻酔）

三好 亜希子（麻酔）

専門医：赤木 洋介（麻酔）

門田 奈実（麻酔）

認定病院番号:657

特徴：集中治療のローテーション可能

麻酔科管理症例数 2,834症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	13症例
帝王切開術の麻酔	30症例

胸部外科手術の麻酔	174症例
脳神経外科手術の麻酔	37 症例

岡山市立市民病院

研修実施責任者：木村 雅一

専門研修指導医：木村 雅一（麻酔）

渡邊 陽子（麻酔）

越智 辰清（麻酔）

八塚 秀彦（麻酔）

吉鷹 志保（麻酔）

小原 祐子（麻酔）

認定病院番号：662

特徴：外科、整形外科、脳神経外科の急患手術が多い

麻酔科管理症例数 2,133症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	7症例
帝王切開術の麻酔	61症例
胸部外科手術の麻酔	15 症例
脳神経外科手術の麻酔	136症例

岡山赤十字病院

研修実施責任者：奥 格

専門研修指導医：奥 格（麻酔，集中治療）

福島 臣啓（麻酔，ペインクリニック）

實金 健（麻酔，救急医療）

小林 浩之（麻酔，ペインクリニック）

岩崎 衣津（麻酔，集中治療）

石井 瑞恵（麻酔，ペインクリニック）

専門医：三枝 秀幸（麻酔，集中治療）

石川 友規（麻酔，集中治療）

木田 好美（麻酔）

河野 圭史（麻酔）

認定病院番号:365

特徴：集中治療のローテーション可能
ペインクリニックの研修可能

麻酔科管理症例数 3,332症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	80症例
帝王切開術の麻酔	59症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	17症例
胸部外科手術の麻酔	145 症例
脳神経外科手術の麻酔	67症例

岡山労災病院

研修実施責任者：村上 史高

専門研修指導医：村上 史高

齊藤 智彦

大森 恵

西谷 恭子

1995年 研修委員会認定病院取得

特徴：岡山市南部地域に密着した医療を提供。整形外科手術が多い。

特に脊椎整形外科の手術は種類・件数共に市内他施設を上回る。

麻酔科管理症例数 2,253症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	13症例
胸部外科手術の麻酔	89症例
脳神経外科手術の麻酔	35症例

津山中央病院

研修実施責任者：萩岡 信吾

専門研修指導医：萩岡 信吾（麻酔）

杉山 雅俊（麻酔）

森本 直樹（救急，集中治療）

川西 進 (救急, 集中治療)

認定病院番号:921

特徴: 集中治療のローテーション可能

麻酔科管理症例数 1,904症例

	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	32症例
帝王切開術の麻酔	81症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	130症例
胸部外科手術の麻酔	59 症例
脳神経外科手術の麻酔	146症例

竜操整形外科病院

研修実施責任者: 松三 昌樹

専門研修指導医: 松三 昌樹

高田 研

特徴: 整形外科全般にわたる豊富な症例がある

認定病院番号:1492

麻酔科管理症例数 716症例

	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	1症例

国立病院機構 岡山医療センター

研修実施責任者: 株丹 浩二

専門研修指導医: 株丹 浩二 (麻酔)

小野 剛 (麻酔)

野上 悟史 (麻酔)

西村 裕子 (麻酔)

檀浦 徹也 (麻酔)

谷岡 野人 (麻酔)

篠井 尚子 (麻酔)

認定病院番号:96

麻酔科管理症例数 3,025症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	199症例
帝王切開術の麻酔	160症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	59症例
胸部外科手術の麻酔	158 症例
脳神経外科手術の麻酔	9症例

川崎医科大学総合医療センター

研修実施責任者：片山 浩

専門研修指導医：片山 浩（麻酔，集中治療）

大橋 一郎（麻酔，集中治療）

落合 陽子（麻酔）

日根野谷 一（麻酔，集中治療）

専門医：吉田 由紀子（麻酔）

認定病院番号：211

特徴： 集中治療のローテーション可能

麻酔科管理症例数 2,673症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	30症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	35症例
胸部外科手術の麻酔	53症例
脳神経外科手術の麻酔	72 症例

川崎医科大学附属病院

研修実施責任者：中塚 秀輝

専門研修指導医：中塚 秀輝（麻酔，ペインクリニック）

戸田 雄一郎（麻酔，集中治療）

佐藤 健治（麻酔，ペインクリニック）

小野 和身（麻酔）

前島 亨一郎（麻酔，集中治療）

西江 宏行 (麻酔, ペインクリニック)
谷野 雅昭 (麻酔, 集中治療)
櫻井 由佳 (麻酔, 集中治療)
川上 朋子 (麻酔)
葉山 智子 (麻酔)

認定病院番号 77

特徴：心臓血管手術、脳神経外科手術、呼吸器外科手術、腹腔鏡下手術、婦人科手術など、幅広い症例を研修することができる。救急に力を入れている病院であり、緊急症例の麻酔管理なども経験できる。また、ICUも麻酔科が管理しており、集中治療の研修も充分行える。ペインクリニック外来、緩和医療、無痛分娩などの研修も可能である。

麻酔科管理症例数4, 803症例

一般財団法人 倉敷成人病センター

研修実施責任者： 楠戸 和仁
専門研修指導医： 楠戸 和仁 (麻酔, 集中治療)
岡田 昌平 (麻酔, 集中治療)
藤井 美江 (麻酔)
郷原 徹 (麻酔, 集中治療)
岡田 朋子 (麻酔)

認定病院番号 643

特徴：婦人科腹腔鏡手術では世界的に有名な病院。

婦人科、泌尿器科のロボット手術も週6件以上あり、腹腔鏡手術の麻酔管理に精通できる。

麻酔科管理症例数 3, 397症例

	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	1症例
帝王切開術の麻酔	116症例

香川県立中央病院

研修実施責任者：平崎 盟人
専門研修指導医：平崎 盟人 (麻酔)
谷津 祐市 (麻酔)
井上 一由 (麻酔, 集中治療、ペインクリニック)

大西 淳司（麻酔，集中治療）

専門医：大西 藍（麻酔）

認定病院番号：150

特徴：麻酔科専門研修に必要な各分野の麻酔症例をカバーできる。

Closed ICUでの研修可能。

希望があれば専門医のもとで緩和ケア・ペインクリニックの研修可能。

麻酔科管理症例数 3,592症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	47症例
帝王切開術の麻酔	102症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	121症例
胸部外科手術の麻酔	224 症例
脳神経外科手術の麻酔	89症例

香川労災病院

研修実施責任者：北浦 道夫

専門研修指導医：北浦 道夫（麻酔，集中治療，救急，ペインクリニック）

戸田 成志（麻酔，集中治療，救急，ペインクリニック）

小野 潤二（麻酔）

鈴木 勉（麻酔，ペインクリニック）

認定病院番号：275

特徴：集中治療、ペインクリニックのローテーション可能

麻酔科管理症例数 3,017症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1症例
帝王切開術の麻酔	9症例
胸部外科手術の麻酔	83症例
脳神経外科手術の麻酔	85 症例

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院

研修実施責任者：東 龍哉

専門研修指導医：東 龍哉（麻酔）

中村 公輔（麻醉）
専門医：永田 紗弥子（麻醉）
川久保 弥知（麻醉）

認定病院番号:290

特徴：地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、災害拠点病院であり、二次医療圏内で腎疾患診療が当院に集約されている。

麻醉科管理症例数 1,594症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	6症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	18症例
胸部外科手術の麻醉	36 症例
脳神経外科手術の麻醉	46症例

尾道市立市民病院

研修実施責任者：突沖 満則
専門研修指導医：突沖 満則（麻醉）
川上 直哉（麻醉）

認定病院番号:878

特徴：地域の二次救急を担っており、緊急手術症例も多数あり。

麻醉科管理症例数 1,466症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	6症例
胸部外科手術の麻醉	66 症例
脳神経外科手術の麻醉	36症例

福山市民病院

研修実施責任者：日高 秀邦
専門研修指導医：日高 秀邦（麻醉）
小山 祐介（麻醉，ペインクリニック）
安保 佳苗（麻醉，特に心臓血管麻醉）
石井 賢造（麻醉，集中治療）

荒井 麻耶（麻醉）

小坂 真子（麻醉，特に産科麻醉）

認定病院番号：725

特徴：専門医取得に必要な症例が当院のみで経験可能です。麻醉科は院内患者を対象とした Closed の 12 床の集中治療室の管理を担当しています。主に院内発生の内科、外科、循環器内科の重症患者、大手術後の患者を診療しています。救急救命センターを併設しており、そちらの ICU、HCU は専従の 9 名の救急科医師が管理しています。がん拠点病院でもあり、ペインクリニックはがん性疼痛のみを扱っています。

麻醉科管理症例数 4,061 症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	74 症例
帝王切開術の麻醉	64 症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	48 症例
胸部外科手術の麻醉	131 症例
脳神経外科手術の麻醉	28 症例

興生総合病院

研修実施責任者：河村 茂雄

専門研修指導医：河村 茂雄（麻醉）

専門医：進 吉彰（麻醉）

認定病院番号 490

特徴：心臓血管麻醉の研修可能、集中治療のローテーション可能、ペインクリニックの研修可能、地域の災害拠点病院

麻醉科管理症例数 699 症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	11 症例
帝王切開術の麻醉	70 症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	1 症例
胸部外科手術の麻醉	3 症例
脳神経外科手術の麻醉	8 症例

広島市立広島市民病院

研修実施責任者：鷹取 誠
専門研修指導医：鷹取 誠（麻酔, 集中治療, 心血管麻酔）
藤中 和三（麻酔, 集中治療, 心臓血管麻酔）
大宮 浩輝（麻酔, 心臓血管麻酔）
後藤 隆司（麻酔, 集中治療, 心血管麻酔）
寺田 統子（麻酔, 集中治療, 心血管麻酔）
市場 稔久（救急）
宮本 将（麻酔, 集中治療）
田窪 一誠（麻酔, 心臓血管麻酔）
松本 森作（麻酔, 集中治療, 心血管麻酔）
木戸 浩司（麻酔）
橘 薫（麻酔）
伊加 真士（麻酔）
米沢 みほこ（麻酔）

研修委員会認定病院 認定病院番号170

特徴：麻酔、周術期、集中治療を一連の重症患者における生体管理学として一括した一元管理体制をとっており、これらの領域を同時に平行して研修する。中四国地方でも有数の手術件数があり、小児心臓手術を含め多岐にわたる領域の麻酔経験が可能。

麻酔科管理症例数 7,474症例

国立病院機構 岩国医療センター

研修実施責任者：上原 健司
専門研修指導医：上原 健司（麻酔, 集中治療）
熊野 夏美（麻酔）

認定病院番号:1343

特徴：救命救急センターを併設した地域医療の要となる病院であり、心臓血管麻酔の研修も可能である。

麻酔科管理症例数 2,729症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	68症例
帝王切開術の麻酔	32症例

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	147症例
胸部外科手術の麻酔	204 症例
脳神経外科手術の麻酔	105症例

神戸赤十字病院

研修実施責任者：溝上 良一

専門研修指導医：溝上 良一 (麻酔, 集中治療)

杉山 淳一 (麻酔)

熊田 雄太 (麻酔)

専門医：菊地 佳枝 (麻酔)

認定病院番号:1059

特徴：成人を中心として、消化器外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、婦人科、脳神経外科など、幅広い症例を経験することができる。救急に力を入れている病院であり、また、兵庫県立災害医療センターが併設されていることもあり、緊急手術が多いのも特徴である。予定手術患者に対しては術前外来を行い、重症症例に関しては術後集中治療室での管理を行うことで、術前から術後まで一貫した周術期管理を学ぶことができる。

週間スケジュール

月曜日から金曜日 (毎朝 8 時 00 分から 8 時 15 分まで)：術前症例検討会

月曜日から金曜日 (毎朝 8 時 40 分から 9 時 00 分まで)：ICU ラウンド (多職種)

水曜日 (8 時 00 分から 8 時 30 分まで)：病院内勉強会

木曜日 (8 時 15 分から 8 時 40 分まで)：抄読会

月曜日から金曜日 (9 時から)：手術室での麻酔及び術前診察、術後回診、ICU 診療

麻酔科管理症例数 2,326症例

	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	12症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	172症例
胸部外科手術の麻酔	106 症例
脳神経外科手術の麻酔	36症例

姫路聖マリア病院

研修実施責任者：山本 公三
専門研修指導医：山本 公三（麻酔，集中治療）
若林 隆信（麻酔，集中治療）
専門医：狩野 和香奈（麻酔）
高松 渥子（麻酔）
大谷 晋吉（麻酔）

2004年 研修委員会認定病院取得

認定病院番号:1063

特徴：産婦人科、小児科、整形外科（神経ブロック）の麻酔が多い。

ICUもあり、麻酔科管理となっている。

麻酔科管理症例数 1,925症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	90症例
帝王切開術の麻酔	33症例
胸部外科手術の麻酔	27 症例

姫路赤十字病院

研修実施責任者：倉迫 敏明
専門研修指導医：大森 睦子（麻酔）
倉迫 敏明（麻酔，集中治療）
八井田 豊（麻酔）
石川 慎一（麻酔，ペインクリニック）
山岡 正和（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）
小橋 真司（麻酔）
土田 環（麻酔）
向原 恭子（麻酔）
門馬 和枝（麻酔）
窪田 陽子（麻酔）
岩崎 智誉（麻酔）
専門医：西村 健吾（麻酔）
中村 仁（麻酔）
南 絵里子（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

2001年 研修委員会認定病院取得（認定病院番号:776）

特徴：小児心臓手術、臓器移植手術以外のほぼ全分野の手術症例があり、症例数も麻酔科管理症例4000例を超えて豊富である。集中治療、ペインクリニックも並行して研修が可能であり、専門医の取得を並行して準備することができる。

麻酔科管理症例数 4,151症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	265症例
帝王切開術の麻酔	228症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	57症例
胸部外科手術の麻酔	173 症例
脳神経外科手術の麻酔	98症例

高知医療センター

研修実施責任者：杉本 清治

専門研修指導医：難波 健利（麻酔，集中治療）

杉本 清治（麻酔）

滝本 恵里（麻酔）

鬼頭 英介（麻酔，集中治療）

濱田 暁（麻酔，集中治療）

専門医：小川 達彦（麻酔，集中治療）

：濱田 奈保（麻酔、集中治療）

：入江 直（麻酔）

認定病院番号 66

特徴：集中治療のローテーション可能

麻酔科管理症例数 4,322症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	206症例
帝王切開術の麻酔	311症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	218症例
胸部外科手術の麻酔	166 症例
脳神経外科手術の麻酔	81症例

鳥取市立病院

研修実施責任者：浅雄 保宏

専門研修指導医：浅雄 保宏（麻醉）

樋口 智康（麻醉）

清水 貴志（麻醉）

認定病院番号 599

特徴：高齢者が多く、老年麻醉を多数経験できる。心臓血管外科はない。

麻醉科管理症例数 1,792症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	8症例
帝王切開術の麻醉	28症例
胸部外科手術の麻醉	31 症例
脳神経外科手術の麻醉	14症例

島根大学医学部附属病院

研修実施責任者：齊藤 洋司

専門研修指導医：齊藤 洋司（麻醉、集中治療、ペインクリニック、緩和ケア）

佐倉 伸一（手術部、麻醉）

今町 憲貴（麻醉）

二階 哲朗（集中治療）

橋本 龍也（緩和ケア、ペインクリニック）

庄野 敦子（集中治療）

三原 亨（集中治療）

本岡 明浩（麻醉、ペインクリニック）

大田 淳一（集中治療、麻醉）

横井 信哉（麻醉）

松田 高志（麻醉、集中治療）

橋本 愛（麻醉）

蓼沼 佐岐（麻醉）

平出 律子（麻醉）

専門医：日下 あかり（麻醉、救急、集中治療）

森 英明（麻醉）

和田 譲（集中治療）

片山 望（麻醉、集中治療）

榑原 賢司(麻酔、ペインクリニック)
 山本 花子(麻酔、ペインクリニック)
 平林 政人 (麻酔)
 青山 由紀 (麻酔、集中治療)

認定病院番号 202

特徴：麻酔管理では全ての特殊麻酔症例、超音波ガイド下末梢神経ブロックを用いた症例、高度先進医療であるロボット手術、外傷センター開設に伴う緊急外傷手術などを多く経験できる。また、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアも選択をすることが可能である。これらの領域を通して、広く多面的に麻酔科学の基本である全身管理の専門的知識、技能を習得できることが本施設の特徴である。

麻酔科管理症例数 4,651症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	25症例
帝王切開術の麻酔	25症例

亀田総合病院

研修実施責任者：小林 収
 専門研修指導医：小林 収（麻酔）
 高橋 幸雄（麻酔）
 植田 健一（麻酔）
 鏑木 紀子（麻酔）
 杉山 大介（麻酔）
 吉沼 裕美（麻酔）
 専門医：重城 聡（麻酔）
 河野 宏之（麻酔）
 柘植 雅嗣（麻酔）
 竹原 由佳（麻酔）
 松浦 恵梨（麻酔）

認定病院番号 367 研修委員会認定病院

特徴：千葉県南房総地区において中心的な役割を果たす施設。早くから米国式研修医システムを取り入れ、研修医を育てることを得意とする病院施設である。外科においては、心臓手術、呼吸外科、食道外科をはじめとする高度医療から一般外科まで幅

広く手術症例があり年間1万例以上の手術件数を誇る。ペインクリニック認定施設でもあり、他に、当院にて集中治療、救急医療のローテーション可能となっている。

麻酔科管理症例数 6,773症例

国立がん研究センター中央病院

研修実施責任者：佐藤 哲文

専門研修指導医：佐藤哲文（麻酔，集中治療）

松三 絢弥（麻酔，集中治療）

川口 洋佑（麻酔，集中治療）

塩路 直弘（麻酔，集中治療）

大額 明子（麻酔）

専門医：浅越 佑太郎（麻酔）

川久保 紹子（麻酔）

認定病院番号 43

特徴：東京都中心部に位置するがん治療・がん研究の拠点病院で、悪性腫瘍手術全般、特に胸部腹部外科手術の麻酔管理を研修することができる。集中治療部の研修も可能である。

麻酔科管理症例数 5,163症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	75症例
胸部外科手術の麻酔	200 症例
脳神経外科手術の麻酔	40症例

昭和大学病院

研修実施責任者：大嶽 浩司

専門研修指導医：大嶽 浩司（手術・麻酔全般・集中治療・医療経済）

大江 克憲（手術麻酔・小児心臓麻酔・集中治療）

加藤 里絵（産科麻酔）

岡本 健一郎（緩和医療）

小谷 透（集中治療）

三浦 倫一（心臓麻酔）

増井 健一（静脈麻酔）

尾頭 希代子 (人工呼吸)
 上嶋 浩順 (区域麻酔)
 宮下 亮一 (集中治療)
 小林 玲音 (ペインクリニック・手術麻酔)
 森 麻衣子 (集中治療)
 稲村 ルキ (小児麻酔)
 西木戸 修 (緩和医療・ペインクリニック)
 専門医：田中 典子 (区域麻酔)
 樋口 慧 (手術麻酔)
 善山 栄俊 (手術麻酔)
 原 詠子 (区域麻酔)
 染井 将行 (手術麻酔)
 汲田 翔 (区域麻酔)
 市村 まり (手術麻酔)
 岡田 まゆみ (ペインクリニック・手術麻酔)
 小島 三貴子 (手術麻酔・周術期外来)
 細川 麻衣子 (術後認知機能・区域麻酔)

認定病院番号:33

特徴：臨床症例のバラエティに非常に恵まれており、手術麻酔のみでなく、集中治療、ペインクリニック、産科麻酔、緩和医療のアクティビティが高く、病院内でも全ての特殊症例とサブスペシャリティの研修が可能です。食道手術や肝臓手術の技量が高く、いわゆる大外科手術の内視鏡症例を豊富に積めます。心臓血管外科は、成人と小児の両方を数多く行っており、最新のステントやデバイスの手術を経験できます。超音波ガイド下末梢神経ブロックの院内認定教育プログラムや多職種参加の周術期外来を持っているなど、周術期全体の高度な管理を身に付けることが可能です。

麻酔科管理症例数 6,383症例

昭和大学横浜市北部病院

研修実施責任者：信太 賢治
 専門研修指導医：信太 賢治 (麻酔・ペインクリニック)
 山田 新 (麻酔)
 坂本 篤紀 (麻酔)
 山村 彩 (麻酔)

釋尾 知春 (麻酔)
高橋 健一 (麻酔)
栗倉 英恵 (麻酔)
大橋 祐介 (麻酔・緩和医療)

認定病院番号:928

特徴：横浜の北部医療圏に立地する地域中核病院。

外科系・内科系の壁を取り払ったセンター制を採用。

小児外科から産科まで症例が豊富で、各種手術の麻酔管理および集中治療を幅広く経験できる。

中でも、成人心臓血管手術件数が増加しつつあり、重症な症例も多い。

希望者は、ペインクリニック、緩和医療研修も可能。

麻酔科管理症例数5,878症例

日本赤十字社医療センター

研修実施責任者：加藤 啓一

専門研修指導医：加藤 啓一 (麻酔、集中治療)

渡辺 えり (麻酔、ペインクリニック)

柄澤 俊二 (麻酔)

齋藤 豊 (集中治療、麻酔)

諏訪 潤子 (麻酔、集中治療)

林 南穂子 (麻酔、集中治療)

専門医：岩山 香坂 (麻酔)

永谷 雅子 (麻酔)

認定病院番号：76

特徴：がん診療、小児・周産期医療、救命救急及び災害救護を担う、地域の中核施設としての環境と、出身大学や初期研修施設が多岐に渡る常勤医師、近隣の大学病院からの非常勤嘱託医師による充実した指導体制の下で、先天性心疾患、小児、産科、胸部外科、脳神経外科を含む十分な麻酔症例と集中治療症例を研鑽することができます。

麻酔科管理症例数 4,639症例

社会医療法人近森会近森病院

研修実施責任者： 小坂 誠
専門研修指導医： 小坂 誠（麻酔，集中治療）
杉本 健太郎（麻酔，集中治療）
野島 宏悦（麻酔，集中治療）
上坪 知世（麻酔）

認定病院番号 413

特徴：心臓麻酔症例が豊富

麻酔科管理全症例数	2701
小児（6歳未満）の麻酔	12
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔	376
胸部外科手術の麻酔	25
脳神経外科の麻酔	148

住友別子病院

研修実施責任者： 井石 貴子
専門研修指導医： 渡邊 興次（麻酔，ペインクリニック）
井石 貴子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：465

特徴：地域の中核病院であり、ハイリスク症例、高齢症例、緊急手術など多数経験で
きる。

麻酔科管理全症例数	1220
小児（6歳未満）の麻酔	8
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	8
脳神経外科の麻酔	83

医療法人新松田会 愛宕病院

研修実施責任者：武田 明雄
専門研修指導医：武田 明雄（麻酔）

杉本 清治 (麻酔)
佐藤 正樹 (麻酔, ペインクリニック)

認定病院番号 1691

特徴: 脊椎手術および脳神経外科手術の研修可能.

麻酔科管理全症例数	772
小児 (6歳未満) の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	1
脳神経外科の麻酔	163

③ 専門研修連携施設B

総合病院岡山協立病院

研修実施責任者: 木村 基信

専門研修指導医: 木村 基信 (麻酔)

武田 明 (麻酔, ペインクリニック, 疼痛, 緩和)

坂下 臣吾 (麻酔)

認定病院番号: 621

特徴: 集中治療のローテーション可能

緩和ケアのローテーション可能

救急部のローテーション可能

麻酔科管理症例数 488症例

	本プログラム分
胸部外科手術の麻酔	7症例

総合病院 三原赤十字病院

研修実施責任者: 前田正人

専門研修指導医: 前田正人

認定病院番号: 1157

特徴: 鎮静下手術や区域麻酔併用症例の比率が高く、その技術修得に適している。

麻酔科管理症例数 378症例

静岡県立静岡がんセンター

研修実施責任者：玉井 直

専門研修指導医：玉井 直（麻酔、集中治療）

江間義朗（麻酔）

安藤憲興（麻酔）

山口貴章（麻酔）

朝倉雄介（麻酔）

専門医：小石川亜矢（麻酔）

山下麻子（麻酔）

佐々木華子（麻酔）

井出利恵（麻酔）

松井智子（麻酔）

認定病院番号 972

特徴：小児、帝王切開、心臓外科症例なし、胸部外科、脳神経外科豊富
ダビンチ手術多数（直腸、胃、子宮、肺・縦郭）

麻酔科管理症例数 3,659症例

	本プログラム分
胸部外科手術の麻酔	100 症例
脳神経外科手術の麻酔	10症例

岡山旭東病院

研修実施責任者：安川 毅

専門研修指導医：安川 毅（周術期神経ブロック，集中治療）

認定病院番号 1461

特徴：脳神経外科の麻酔， 整形外科麻酔（神経ブロック）.

麻酔科管理全症例数	1682
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	1

脳神経外科の麻酔	16
----------	----

公立学校共済組合 中国中央病院

研修実施責任者：坂野 成宏

専門研修指導医：坂野 成宏（麻酔）

認定病院番号:1034

特徴：胸部外科手術と帝王切開の麻酔は豊富です。

麻酔科管理全症例数	439
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	4
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	104
脳神経外科の麻酔	0

国立病院機構 福山医療センター

研修実施責任者：友塚 直人

専門研修指導医：友塚 直人（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

高野 洋平（麻酔）

吹田 晃享（麻酔）

認定病院番号:734

特徴：小児，産科麻酔の症例が豊富で，集中治療の研修も可能です。

麻酔科管理全症例数	3087
小児（6歳未満）の麻酔	170
帝王切開術の麻酔	245
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	127
脳神経外科の麻酔	0

高砂市民病院

研修実施責任者：築地 崇

専門研修指導医：築地 崇（麻酔）

認定病院番号:1172

特徴：ほとんどの症例で神経ブロックを併用しており，基本的な四肢・体幹の神経ブロック手技が学べます．

麻酔科管理全症例数	463
小児（6歳未満）の麻酔	13
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔	0
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科の麻酔	0

5. 募集定員

11名

（＊募集定員は，4年間の経験必要症例数が賄える人数とする．複数のプログラムに入っている施設は，各々のプログラムに症例数を重複計上しない）

6. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに（2019年9月ごろを予定）志望の研修プログラムに応募する．

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座ホームページ上の岡山大学病院麻酔科専門研修プログラムページ，電話，e-mail，郵送のいずれの方法でも可能である．

岡山大学病院 麻酔科蘇生科 医局長 賀来 隆治

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL 086-235-7778

E-mail okamasui@okayama-u.ac.jp

Website <http://www.okadaimasui.com/jp/>

7. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には、大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために、研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた**専門知識**、**専門技能**、**学問的姿勢**、**医師としての倫理性と社会性**に関する到達目標を達成する。

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識、技能、態度を備えるために、別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた**経験すべき疾患・病態**、**経験すべき診療・検査**、**経験すべき麻酔症例**、**学術活動**の経験目標を達成する。

このうちの経験症例に関して、原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが、地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り、研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

8. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた1) 臨床現場での学習、2) 臨床現場を離れた学習、3) 自己学習により、専門医としてふさわしい水準の知識、技能、態度を修得する。

9. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って、下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する。

専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し、ASA 1～2 度の患者の通常の定時手術に対して、指導医の指導のもと、安全に周術期管理を行うことができる。

専門研修 2 年目

1 年目で修得した技能、知識をさらに発展させ、全身状態の悪い ASA 3 度の患者の周術期管理や ASA 1～2 度の緊急手術の周術期管理を、指導医の指導のもと、安全に行うことができる。

専門研修 3 年目

心臓外科手術、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、小児手術などを経験し、さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと、安全に行うことができる。また、ペインクリニック、集中治療、救急医療など関連領域の臨床に携わり、知識・技能を修得する。

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる。基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが、難易度の高い症例、緊急時などは適切に上級医をコールして、患者の安全を守ることができる。

10. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に、**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する。研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される。
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき、専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し、**研修実績および到達度評価表**、**指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う。研修プログラム管理委員会は、各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し、専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる。

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において、専門研修 4 年次の最終月に、**専攻医研修実績フォーマット**、**研修実績および到達度評価表**、**指導記録フォーマット**をもとに、研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて、各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識、②専門技能、③医師として備えるべき学問的姿勢、倫理性、社会性、適

性等を修得したかを総合的に評価し、専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する。

また、指導記録フォーマットを基にして、コメディカルスタッフによる総括的評価を行うことを計画している。

11. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標、経験すべき症例数を達成し、知識、技能、態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうか修了要件である。各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において、研修期間中に行われた形成的評価、総括的評価を元に修了判定が行われる。

12. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は、毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い、研修プログラム管理委員会に提出する。評価を行ったことで、専攻医が不利益を被らないように、研修プログラム統括責任者は、専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある。

研修プログラム統括管理者は、この評価に基づいて、すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために、自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する。

また、専門研修指導医の質を上げるべく、Faculty development プログラムを行うことを計画している。

13. 専門研修の休止・中断、研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき、研修プログラム管理委員会が判断を行う。
- 出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は1回までは研修期間に含まれる。
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は、連続して2年迄休止を認めることとする。休止期間は研修期間に含まれない。研修プログラムの休止回数に制限はなく、休止期間が連続して2年を越えていなければ、それまでの研修期間はすべて認められ、通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす。
- 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は、それまでの研修期間は認められない。ただし、地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める。

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は、研修プログラム管理委員会を通じて日本専

門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする。

- 専門研修の中断については、専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合、研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる。

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は、やむを得ない場合、研修期間中に研修プログラムを移動することができる。その際は移動元、移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて、日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある。麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める。

14. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には、地域医療の中核病院として広島市民病院、福山市民病院、津山中央病院など幅広い連携施設が入っている。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は、大病院だけでなく、地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

15. 専攻医の就業環境の整備機能(労務管理)

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります。専攻医の就業環境に関して、各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします。プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境(設備、労働時間、当直回数、勤務条件、給与なども含む)の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します。

年次評価を行う際、専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価(Evaluation)も行い、その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する。就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します。

2023年6月変更

- ・基幹施設での最短研修期間を変更
- ・専門研修連携施設（A）から（B）に変更
岡山旭東病院，中国中央病院，福山医療センター，高砂市民病院
- ・専門研修連携施設（B）から（A）に変更
愛宕病院
- ・専門研修連携施設から削除
屋島総合病院，三豊総合病院，りつりん病院